

今頃そうだったかもしれないわたし

五十路に入る前の今、ちょっと自分を振り返る。

小学生の頃、友だちから頼まれるプロフィール・ノートに必ず書いていた『将来の夢』は**保母さん(保育士、もしくは幼稚園教諭)**。少し大きくなって、高学年でスポーツ少年団のバレーボール部に入った頃は、本気で自分はワールドカップに出る(あの頃は江上由美、三屋裕子、広瀬美代子などが活躍。中学生で全日本入りした現全日本監督の中田久美も憧れた)と思っていたので、小学校の卒業アルバムの『将来の夢』欄には、「中国に行って郎平さん(当時の中国のエース)に会いたい」と書いている。バレーボールで実業団に入り、全日本に入っていれば、今頃は**スポーツ解説者かバレーの指導者**か。残念ながら中学生時に身の程を知ることとなり、バレーでは道を選ばなかった。同じ頃、友だちに頼まれるプロフィール・ノートには、将来は**児童養護施設の職員**になりたいと書いていた。絶対に、何かのテレビ番組に影響されたのだと思う。

中学校では宮崎市にある特別支援学校と、高校でも視覚支援学校や聴覚支援学校との交流があり、自分はどうかという道に進みたい気がする、と思うようになる。中学生時、アメリカが舞台の漫画『ファミリー』を読み、アメリカに憧れ始める。ホームステイをしたくてたまらなかったが、家庭の経済事情などにより、「高校に行ってからでいいんじゃない?」「英語の力がついてからじゃないと言っても意味ないってよ」などと親にうまくごまかされた。中3の時の生徒指導部の面白いけど恐ろしい先生に、何故か「教員になれ」と言われ、その言葉が心に留まる。高校2年の頃は、障がい者のチャリティー・コンサートのボランティアにも参加した。そこで初めて手話と出会う。高校3年時の二者面談では、「**特別支援学校の先生**になりたい」と担任に伝えた。英語の教科担任でもあった担任は、「特別支援学校で働くためには、まずは県立学校の先生にならなければならない。だから、得意な教科で教員になり、転勤希望を支援学校とすればよいぞ。」と言われた(今は特別支援の免許で特別支援の教員になれる)。アメリカには相変わらず憧れており、教員になるなら英語だな、と思っていた。そして親が持ってきた「〇〇大学では国費で留学できる制度があるらしい」という情報にまんまと飛びつき、勉強してその大学に入学する(のちに、この制度は他の大学にもあると知る)。

バレーは下手なりに大学まで続けた。大学時代は小学生のコーチングをしたことも。引退後は地域の9人制チームで汗を流す。学生時代、青年海外協力隊に興味を持ち、いつか電話すると心に決め、宮崎県事務局の電話番号を手帳に記す。が、結局電話せず。もし電話していたら**JICA職員**か、**国連職員**か、**NPO代表**か…。中学校での6~7週間の教育実習で現実を知り、もっと勉強したいと思うようになる。ひとまず留学だ。このためにこの大学に来たのだから。で、国費留学生枠をゲットし、念願叶ってアメリカへ。1年間いたら話せるようになる?ならないならぬ。でも、感覚はつかめた。だからその後の伸びはあったと我ながら思う。帰国後、もう少し勉強したくてあと2年学生をした。

大学生時代は、勉強と部活だった。留学後はあまり迷うことなく「**英語教員**になり、特別支援学校へ行く」と思っていた。毎日の猛勉強が実を結び、晴れて教員採用試験合格。初任校は商業高校だった。そろそろ転勤かな、と思って知的障がいのある児童生徒の支援学校を希望したら、聴覚支援学校へ異動になった。あれ?と思ったが、聴覚障がい児教育(以下、ろう教育)は面白かった。手話の世界の豊かさをもっと学びたいと思った。こうなったら、**ろう教育のスペシャリスト**もありでは?と思い、もう一度留学して、アメリカ手話やアメリカのろう文化を学びたいと思ったこともある(実行していれば今頃はろう教育の専門家、どこぞの大学や専門学校で聴覚障がいやろう教育について研究する人間になっていたかもしれない。あるいは手話を極めて**手話通訳者**?)。

8年後、前任校である都工へ。転勤して1年目、しんどいことが重なり、しばらく休んでしまった。その時は、「もう辞めよう。一生懸命やるのにこんなに報われないのなら、早いとこ切り替えて好きな本を並べて**私設図書館**でも作るべ。」と思っていた(実行していれば今頃は都城のどこかで、家庭菜園をしながら外国人の立ち寄れる本の小屋でも建てていたかな。いや、そんな資金はなかったか)。でも、なぜかなあ、戻ることにした。いや、戻ってみた。そうしたら、生徒たちが助けてくれた。うまくいかなければ辞めればいいや、と思っていたけれど、結局生徒に助けられて今に至る。

その時その時で自分は行動に踏み切れずにここまで来た感があるけれど、結局踏み切らない決断をしてきたのは自分だし、小さい頃からの夢ややりたかったことを眺めなおすと、こうやってここにいるのは自然なことのようにも思う。

好きだからうまくいくというわけではないけれど、なぜ自分がその道を選ぼうとしているかは、どこかちゃんと自分の中で一つの筋になっていくものだ。今のベストはどこかにつながる。

だから、これからもつないでいこう、自分のベストを。周りにはいろいろ言われるだろう。でも、この一筋は何歳になっても自分だけのものだ。その時に考えて、一生懸命考えて、ベストな答えを出す。生徒もそう。私たち大人もそう。その時のベストをつないでいこう(でも時々は、息抜きもしよう☺)。

【週行事予定】

月	日	曜	行事予定	FT	課外	備考
5	21	金		○	○	7:25 登校
	22	土	英検1次 I			
	23	日				
	24	月			○	7:25 登校
	25	火	歯科検診(2年)13:20-		○	7:25 登校
	26	水	耳鼻科検診(1年)10:00-		○	7:25 登校
	27	木	⑦壮行式 I 15:20-(※527)		○	7:25 登校
	28	金			○	7:25 登校
	29	土				
	30	日				
	31	月			○	○
6	1	火	特編授業	○	○	7:25 登校
	2	水	特編授業	○	○	7:25 登校
	3	木		○	○	7:25 登校